

各位

2026年4月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務CSR部：風間、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和8年2月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 118.6%、学生団体は同 104.6%、団体旅行合計では同 111.9%となった。企画旅行については前年比 104.1%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 103.4%と前年度を上回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 167.9%、学生団体は同 121.3%、団体旅行合計では同 151.5%となった。企画旅行については前年比 120.4%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 130.5%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 75.4%と前年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の2月の総取扱額は、前年比 110.8%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業の視察・懇親旅行の取扱いなどが増加し、一般団体は 118.6%と前年度を上回った。

学生団体は修学旅行やスキー研修などの取扱いが増加し、学生団体旅行合計で 104.6%と前年度を上回った。

国内企画旅行については、前年比 104.1%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、京都・沖縄方面の販売は堅調も、他方面の宿泊旅行が伸び悩み、前年比 78.4%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、航空機利用の沖縄・九州・北海道方面の販売が伸び悩むも、北陸・近畿方面の販売が好調に推移し、前年比 112.1%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 103.4%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、大型スポーツイベントの取扱いに加え、企業の周年旅行の取扱いもあり、前年比 167.9%となった。学生団体は修学旅行の取扱いが増加し、前年比 121.3%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 151.5%となった。

海外企画旅行については、前年比 120.4%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、エジプトやリオのカーニバルが開催された南米方面が好調に推移し、前年比 121.6%となった。以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 130.5%となった。

3. 訪日旅行

一部市場での国際関係をめぐる外部環境の影響もあり、訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約が伸び悩んだことに加え、訪日団体の取扱いも伸び悩み、訪日旅行全体では前年比 75.4%となった。

以上